



GCOEセミナー特別講義

ホノルル美術館日本美術コレクション

—デジタル・アーカイブとデータベース公開について—

講師：竹村 さわ子氏 (Sawako Chang Takemura)

研究
発表

レインコレクションと春画・艶本データベース | 石上 阿希 (Aki Ishigami)

2009年 6月9日 (火) [18:00-19:30] 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム：入場無料

竹村 さわ子氏 (Sawako Chang Takemura)

ホノルル美術館ロバートランジ財団東洋美術部日本美術イメージ・プロジェクト主任/准研究員
(HAA Robert F. Lange Foundation Japanese Art Imaging Project Manager/Research Assistant)

【概要】ホノルル美術館では2003年より、美術館所蔵の1万点に及ぶ浮世絵、現代版画をすべてデジタル化し、オンラインで紹介することを目的にイメージプロジェクトを開始した。2006年には1万点すべての撮影が終了し、その後、版本コレクション約260点、その他の絵画(巻物、屏風等)600点のデジタル化も進められている。本データベースは2009年12月頃より、浮世絵約4000点から公開される予定となっている。今回のセミナーでは、ホノルル美術館イメージプロジェクトのマネージャーである竹村さわ子氏を講師に迎え、美術館におけるデジタル・アーカイブの方法や浮世絵・現代版画データベース構築に際しての問題点とその解決方法などについてご紹介いただく。

石上 阿希 (Aki Ishigami) 本拠点日本文化研究班ポスドクトラルフェロー

【概要】発表者は「版本と版画の美」プロジェクトの一環としてホノルル美術館リチャード・レインコレクションの整理を行い、資料の目録化、デジタル撮影を行ってきた。2009年度にはこの調査とこれまでの国内外所在調査を基に、春画・艶本データベースを構築し、立命館大学アート・リサーチセンターのWebサイト上で公開する予定である。本発表では、春画・艶本データベースの構想と課題について報告する。

【主催】文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタルヒューマンティーズ拠点」(立命館大学)

【お問い合わせ】立命館大学 研究部 人文社会リサーチオフィス内 アート・リサーチセンター事務局 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL.075-465-8476(平日9:00~17:30) arc-jimu@arc.titsumei.ac.jp(担当:石村)

